

新時代の教育とYMCA



※写真撮影時のみマスクを外しています。

日本の教育にとって2回目の改革の時がやってきました。2022年の新学習指導要領に盛り込まれた3つの観点眺めてみると、「知識・技能」以外の2つ「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」の言い方を換えれば、様々な判断の根拠となる価値観と、社会との関係性の中で生きていくためのソーシャルスキルを育むということが出来ます。

YMCAは、1844年にイギリスでジョージ・ウィリアムズにより設立された社会教育団体です。また、時を同じくしてイタリアのトリノでカトリック神父のドン・ボスコが「オラトリオ」という教育事業を始めています。若い人たちの育ちの場が与えられた時です。この後、日本では福沢諭吉や新島襄などの同じような志のある先人たちが、若い人たちのた

めの教育組織を設立しています。

1920年前後には心理学の創設期が訪れます。フロイト、アドラー、ユングという人たちにより、子どもたちの人格の成長を学問的にとらえようとする試みが始まりました。この頃、シュタイナーやモンテッソーリ、ニールなどの教育者がそれぞれの教育論を基軸に学校を設立しているのも特徴的です。これらはオルタナティブスクールとして現在でも教育実践されています。これらの学校の特徴は、「子どもたちが主体」「個性の尊重」「体験的学習」「少人数で異年齢の活動」など、共通する点が多いですが、YMCAの設立当初からの活動もほぼ同じ特徴が見られます。1920年前後のこの大きな変化が、1回目の教育改革となります。

今、YMCA学院高校では、グランドデザイン

により新学習指導要領に向けて、明確にその教育論を打ち出しています。「みつかる。つながる。よくなっていく。」というYMCAの価値観とソーシャルスキルを養うことが明確にYMCA教育の理念として表現されています。

この2回目の教育改革で、YMCAがめざす姿が明確になりました。200年近く続いていたYMCAの教育が、これからどうなるのか、とても楽しみです。



一般社団法人
大阪総合教育支援研究所代表
YMCA学院高校
生徒支援アドバイザー
ほらだ たかし
原田 孝

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

「子どもたちに合った学校・保護者と共に歩める学校」をめざして



大阪YMCA国際専門学校高等課程長 **池田 聡美**

「自分の子どもに合った学校を」という我が子を想う保護者の想いにYMCAが共感して始まった表現・コミュニケーション学科(以下、表コミ)、今年で17年目を迎えます。開校当初は全てが手探りで、生徒や保護者と共に作っていくことに期待と不安の日々。そんな私たちの不安や心配を打ち消してくれたのが、今まで表コミに出会ってくれた生徒たちです。生徒たちは、私たちに無限に広がる可能性を見せてくれ、「安心できる環境と関係性があれば人は変わる」ということを皆が確信しました。今年3月も33名が無事に卒業し、私たちにたくさんの希望の光を与えてくれました。これからも、「子どもたちに合った学校・保護者と共に歩める学校」で在り続けてまいります。



14期卒業アンケートより抜粋「表コミとは」

- ・「学校に行くのが楽しみ」と思えるようになった。以前は、学校に「行かなければならない」と思っていたけれど、今では「行きたい」に変わった場所
- ・人生で初めて友達と楽しく話し、授業を受けて学ぶという経験ができた場所
- ・人として認めてくれた場所
- ・将来の希望が持てるようになった場所
- ・たくさん信頼できる人に出会えた場所
- ・卒業したくないという想いが初めてでてきた場所

表コミを自分の居場所とし、大事にしてくれていることを感じる言葉の数々に大きな喜びを感じます。

ICTによる学びの広がり～BYODに移行～



大阪YMCA国際専門学校 国際学科 学科長 **桐山 泰典**

国際学科(以下、IHS)では、昨年のコロナ禍でGoogle for Educationを導入してオンライン授業へ移行したことで、生徒のICT利用が大きく促進されました。いつでも音声や動画など多彩な方法で課題配信・宿題提出ができたり、ドキュメントに同時に書き込みができ、さらには時間が違ってもコメントを付け合っ同じ課題に向き合えるなど、生徒・教職員双方の学びが広がりました。渡航が中止となったデンマーク交換留学プログラムも、1週間のオンライン交流プログラムに変更して7時間の時差を超えて実施できました。

IHSでは、生徒一人ひとりがICTデバイスを「自分の持ち物として愛着を持ち、文房具として使えること」が大切だと考え、2021年度より生徒全員が自分のICT端末(PC・タブレット)を学校に持参して授業を受けるBYOD(Bring your own device)環境に移行しました。3月には学校のICT推進に詳しい『学校アップデート』の著者で



ある為田裕之さんをお招きし、新しい授業デザインの教員研修を行いました。

これまで行ってきた教室での一斉授業に、ICTを用いた新たな学びのスタイル「いつでも、どこでも、だれとでも」が加わることで、生徒・教職員双方の利便性を高め、対話的・協働的な学びが深まる授業を実現させていきます。

「つながり」と「よくなっていく」ためのアクションについて考える ～第21回日本YMCA大会に参加して～



大阪YMCA学院 日本語学科 スタッフ **小坂 真**

2月23日(火・祝)にオンラインによって開催された第21回日本YMCA大会に参加し、私にとって人と人が支え合う「つながり」と「よくなっていく」ためのアクションについて深く考える機会となりました。また、昨今のコロナ禍により既存のプログラムが次々と実施不可能となっていく中で、全国各地のYMCAで実施される新たな取り組みにも刺激を受けました。

私が所属している天王寺日本語学科の留学生たちは、母国からの仕送りやアルバイトの時間が減り、日本での将来計画の変更を余儀なくされています。そのような状況の中、ポジティブネット支援プログラムによる食料品などの支援物資や支援金が届き、多くの留学生がその恩恵を受けました。

感染予防対策という制約はありますが、オンラインツールを活用し、既存のものとは異なる新たなプログラムを開拓していくとともに、

コロナ禍での支え合いによって生まれた新たな「つながり」を一層強めてまいります。



大阪YMCAの留学生と筆者(左から2番目)

2020年度ユースボランティアリーダー活動感謝会



堺市立青少年の家 スタッフ **杉村 晃治**

新型コロナウイルスの影響が続く中、大阪では3月20日(土・祝)、徳島では3月21日(日)にユースボランティアリーダー(以下、リーダー)感謝会が開催されました。2020年度は、リーダー39名が新たな門出を迎えました。

大阪では、日本聖公会大阪聖パウロ教会の原田佳城牧師から「YMCAのリーダーが社会に必要とされている」、また、大阪YMCAの小川健一郎総理事から「人は人に出会うことによってみがかれる」と、それぞれメッセージがありました。

YMCAと共に活動するリーダーには、環境や平和などの社会課題に目を向けながら様々な取り組みを考え、実行する大きな力があります。これから社会にはばたくリーダーがそれぞれの環境でリーダーシップを発揮し、「ポジティブネット」をもって活躍できることを願うと共に、またYMCA活動で力を合わせたいと思います。

今回、参加がかなわなかった皆さまにも、リーダーをいつも温かく見守り、支えていただいていたことに感謝いたします。これからも引き続き、リーダーと共に活動を進めていきます。



大阪YMCAの気候変動防止についての取り組み



YMCA総合研究所 副所長 **内山 雅文**

大阪YMCAは、地球温暖化防止に向けて13拠点20施設を2021年3月末までに、順次再生可能エネルギー(みんな電力)に変換しました。このことにより、二酸化炭素966.8トン(杉の木69,060本)分の削減(削減率56.6%)をめざすと同時に、以下の取り組みを推進していきます。持続可能な社会に向けてエシカル消費を推進いたします。

- FSC認証用紙とベジタブルオイルインキの使用促進(再生紙、再生時の水資源の削減)
- 自動販売機、傘袋の削減・廃止によるプラ・ビニールゴミ削減(マイボトルの推進)
- トレーサビリティ可能な原材料調達促進(児童労働、フェアトレード)
- asc/MSC認証食材の使用促進(持続可能な消費)
- 5Rの推進
 - リフューズ(Refuse)……断る：ゴミになるものを断る。
 - リデュース(Reduce)……発生抑制：ゴミを発生させない。
 - リユース(Reuse)……再使用：繰り返し使う。
 - リペア(Repair)……修理：修理して使う。
 - リサイクル(Recycle)……再生利用：資源として再生利用。





運動と水分補給

たなべ さき
南YMCA スタッフ 田邊 紗季
〈栄養士・フードスペシャリスト〉

人間は体重の約60%が水分です。人間を含めた生物は、水分を摂取、排泄することで体内水分量を一定に保っています。水分は飲料水や食物から摂取し、発汗や排泄、呼吸時の呼気によって失われています。

初夏を迎え、だんだん気温も高くなり、発汗が多い季節になってきました。汗をかいて体内の水分量が減少すると、血液の水分量も減少し血液がドロドロな状態になります。そのような状態になると、身体の反応が鈍くなっていつものパフォーマンスが発揮できなくなり、パフォーマンスが落ちて怪我をするリスクが上がるので注意が必要です。

一般的に日本人がおいしいと感じる水の温度は5℃~15℃といわれています。5℃~15℃と聞いてもピンときませんが、実は、飲み物を触って冷たいと感じる温度、冷蔵庫から出して少し置いた温度が5℃~15℃くらいです。運動やスポーツで汗をかいた後は冷たい水がおいしいと感じますが、キンキンに冷やしすぎると身体への負担が大きくなってしまいます。その日の体調に合わせてながら身体にやさしい水分補給をして、夏を乗り切りましょう。



大阪YMCA創立記念礼拝のお知らせ

大阪YMCA創立記念の日(1882年6月4日)が近づいてまいりました。今年度のお大阪YMCA創立記念礼拝も、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン配信で開催いたします。創立の志に立ち返し、心新たに未来に歩みを進めるために、YMCAを愛する方々と共に祈りと願いを共有したいと思います。

日時：2021年5月29日(土)午前10時~

奨励：本庄 侑子牧師(日本基督教団 大阪教会)

※オンライン配信の方法については、大阪YMCAのホームページにてご案内いたします。

問合せ… 大阪YMCA 統括本部

TEL:06-6441-0894

E-mail:info@osakaymca.org

キャンプを通してSDGsを どう理解し実践するか学ぶ ~SDGsリーダーズキャンプ~



教育の現場やSDGsを推進する指導者を対象とし、自らの実体験を通してSDGsの本質的な理解を深める機会としてSDGsリーダーズキャンプを開催します。東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターより主幹研究員の及川幸彦先生を講師に招き、学校教育におけるESD(持続可能な開発のための教育)の推進と、その展開事例や現地ロケーション活用方法等についてキャンプを通して学びます。

参加者の皆さんには、SDGsキャンプや海洋教育の促進について積極的に取り組む機会、参加者同士の情報交換や交流の場としていただきたいと願っております。

【日程】5月27日(木)~29日(土)【泊3日】

【場所】YMCA阿南国際海洋センター

【対象】自治体、学校関係者、社会教育担当者、
企業(CSR・人事・研修)担当者、一般

【参加費】11,000円

詳細・申込方法は、YMCA阿南国際海洋センター
ホームページにて公開中



会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2021年3月度報告・敬称略

【新規会員】 大西 彩加 岡本 実優 加藤 瑛也 杉村 マキ 西村 麻子 西村 珠紀	大岸 弘子 大村 肇 大藪 暢子 尾形 丈二 小川 道雄 鍛冶田 雅弘 粕谷 和彦 金岡 重雄 神谷 尚孝 川島 洋一 川端 泰子 川端 康彦 木下 康生 國友 朝子 小林 亜津美 小森 敬久 齋藤 中哉 酒井 哲雄 坂西 卓郎 笹田 英生 佐藤 祐規子 志田 育夫 芝田 光雄 高岡 正明 清水 要 清水 真一 清水 誠治郎 神社 洋一 末岡 成夫 杉浦 眞喜子 鈴木 良洋	澄川 菊代 隅田 保 武井 和子 竹内 靖子 竹花 マリ子 田尻 忠邦 田中 八重子 谷 正一 谷川 寛 谷村 睦 丹吾 礼 津野 忠昭 寺岡 博也 富賀 理恵 長田 英子 中村 楓 中村 茂高 中村 勝吾 西野 陽一 西村 耕 二宮 聡 野間田 佳奈 野村 忠彦	則武 秀尚 橋本 圭子 長谷川 洋一 畠平 恵子 原 寛 廣田 康人 藤井 英世 藤井 弥生 藤好 基子 ベンジャミンミツダ 前田 貴史 牧口 望 松尾 博之 松岡 慶一 松野 五郎 松本 武彦 松本 三枝子 松山 隆義 丸尾 欽造 三浦 明 三浦 直之 水口 美里 村上 徳光	森 雅史 森本 榮三 森本 武 文字 文男 保田 圭子 八束 浩一 山内 信三 山崎 恵 山田 孝彦 横田 恵子 吉岡 香代子 吉田 由美 若木 正実 藤本 博 和田 佐保 若木 正実 脇本 博 和田 佐保
【継続賛助会員】 株式会社甲南保険センター 株式会社ジャパンビバレッジ 共栄社化学株式会社 清風商事株式会社 パナソニック株式会社 有限会社サイテックエンタープライズ				

大阪YMCA早天祈祷会のお知らせ

5月21日(金)に実施予定だった早天祈祷会は中止いたします。

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

